

入善町防災マップ 津波編

このマップは、富山県津波シミュレーション調査(平成28年度)の結果を踏まえ、「津波防災地域づくりに関する法律(法)」に基づく、最大クラスの津波が発生した場合の浸水想定区域、浸水深、避難場所などの情報をまとめたものです。また、参考情報として、富山県が独自に行った想定最大浸水範囲も掲載しています。

富山県の調査では、入善町は約10.2mの津波が約7分で到達する可能性があるとして、実際の津波が、想定どおりの結果になるとは限りませんが、各自が避難の際の目安としてお使いください。

●発行 入善町(2018年3月) ●問い合わせ 総務課 TEL72-1100

指定緊急避難場所及び指定避難所

校区・名称	電話番号
入善小学校	72-1114
入善中学校	72-1117
入善高等学校(体育館、武道場、同窓会館)	72-1145
総合体育館	74-2500
うるおい館	72-0123
町民会館	72-1105
勤労者福祉センター	72-4264
児童センター	72-1990
にゅうぜん保育所	72-0134
上青小学校	72-0164
入善西中学校	72-4770
産業展示会館	74-1087
老人福祉センター	72-1740
さわぎ保育所	72-4100
広域働く婦人の家	74-1089
飯野小学校	72-1030
飯野コミュニティ防災センター	72-5723
飯野保育所	72-1068
芦崎保育所	76-0204
桃李小学校	74-9001
桐山公民館	72-1980
桐山保育所	72-2766
桃李小学校	72-0235
勤労者総合スポーツ施設(サンビレッジ)	72-0287
横山地区交流防災センター	72-1802

福祉避難所

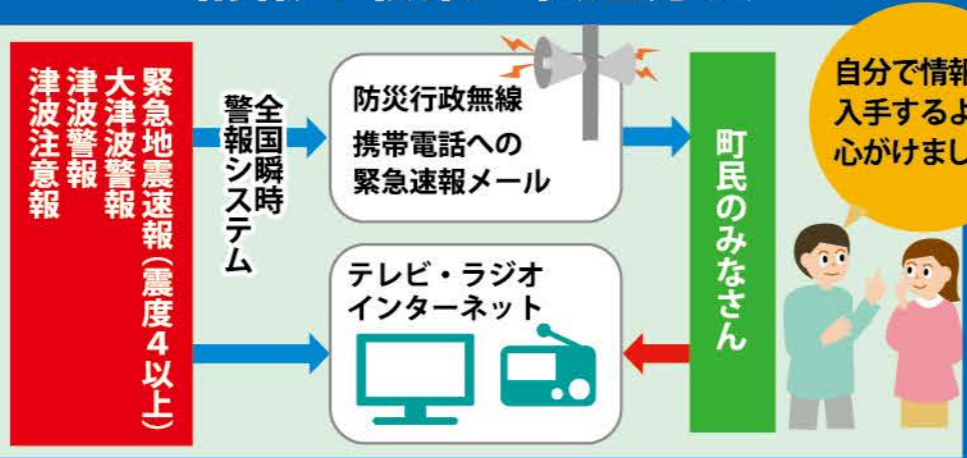
校区・名称	電話番号
入善小学校区 グループホーム双葉	74-0901
上青小学校区 おおしす新川	74-0800
飯野小学校区 ラヴォーロあおの丘New	72-2248

津波警報・注意報の種類(津波予報区:富山県)

種類	予想される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超 10m 5m	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台など安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
津波警報	3m	高い	海の中にいる人は、直ちに海から上がって、海岸から離れてください。 津波注意報が解除されるまで海に入ったり、海岸に近付いたりしないでください。
津波注意報	1m	—	

- 津波警報・注意報が発表された場合は「避難指示(緊急)」を発令します。
- 震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。
- 「揺れたら避難」を徹底し、より高く、遠くへ避難しましょう。

情報の収集・伝達方法



津波災害は避難することで命を守る災害です

一刻も早く、高く、遠くへ
津波から避難するときは、より高く、遠くへ逃げましょう。



避難はなるべく徒歩で

車の避難は、地震による道路の損傷、建物の倒壊などの影響を受けるほか、渋滞により避難が遅れることがあります。また、他の徒歩避難者の円滑かつ安全な避難の妨げとなります。



家庭や地域で避難方法を話し合う

津波災害から命を守るため、普段から家庭や地域で避難経路や避難場所などを話し合しましょう。

「釜石の奇跡」に学ぶ避難の三原則

想定にとらわれるな

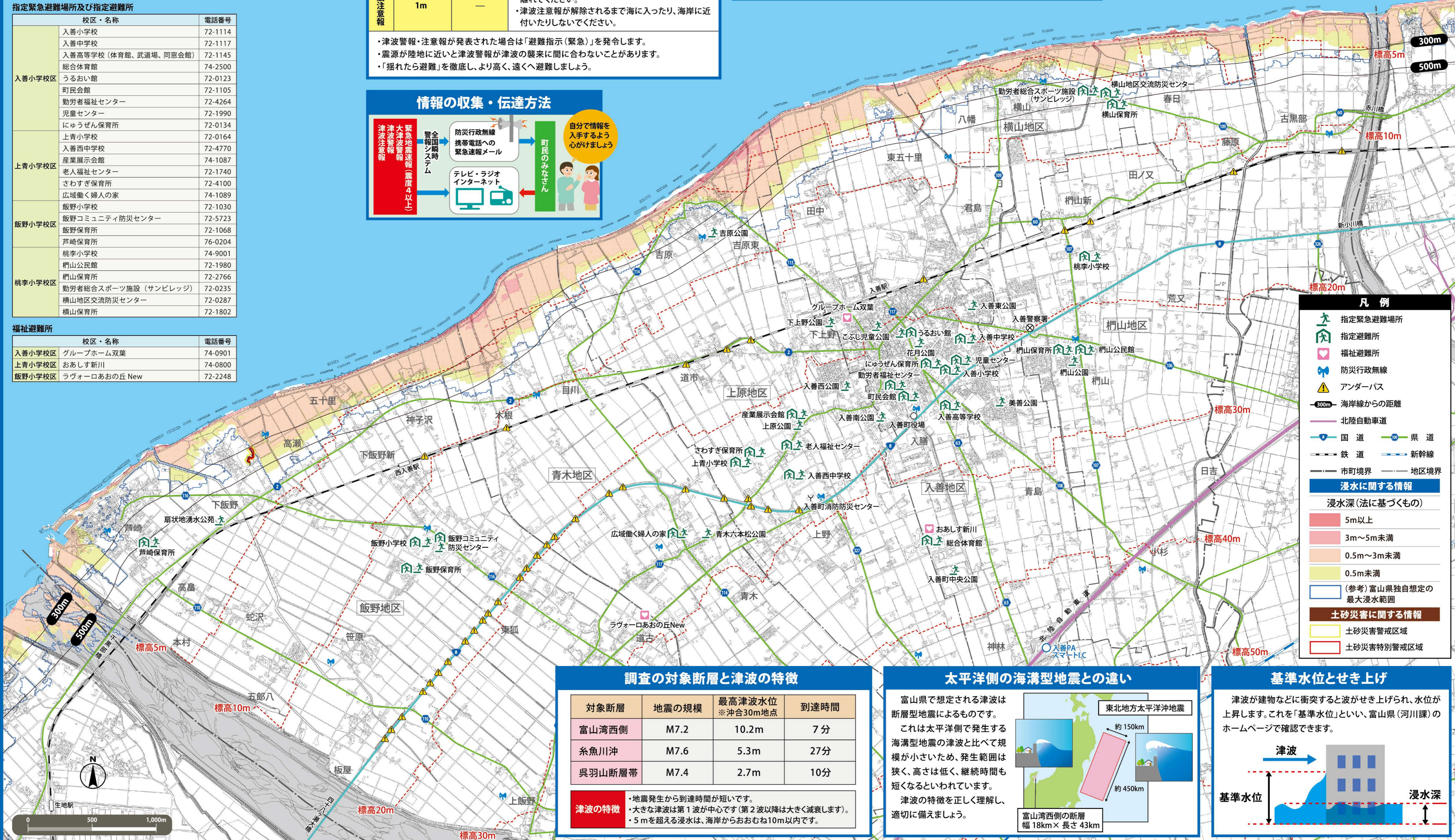
東日本大震災では予想をはるかに超える大津波が襲来しました。想定にとらわれず、避難を最優先しましょう。

最善を尽くせ

相手は自然です。「自分は大丈夫」、「ここまで来れば大丈夫」ではなく、そのときでできることに全力を注ぎましょう。

率先避難者たれ

いざというときは率先して避難しましょう。その姿が他の人の避難を促し、多くの命を救うことにつながります。



凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 防災行政無線
- アンダーパス
- 海岸線からの距離
- 北陸自動車道
- 国道
- 県道
- 鉄道
- 新幹線
- 市町境界
- 地区境界

浸水に関する情報

浸水深(法に基づくもの)

- 5m以上
- 3m~5m未満
- 0.5m~3m未満
- 0.5m未満

(参考) 富山県独自想定最大浸水範囲

土砂災害に関する情報

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

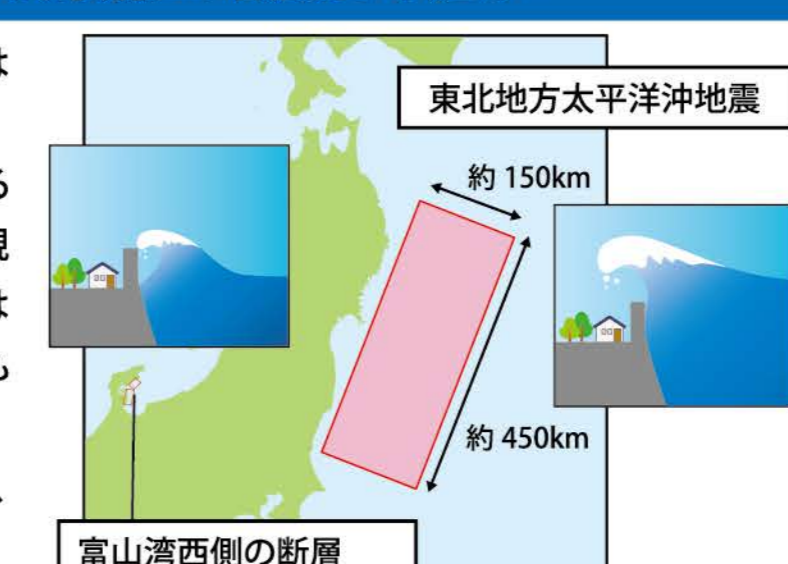
調査の対象断層と津波の特徴

対象断層	地震の規模	最高津波水位 ※沖合30m地点	到達時間
富山湾西側	M7.2	10.2m	7分
糸魚川沖	M7.6	5.3m	27分
呉羽山断層帯	M7.4	2.7m	10分

- 津波の特徴**
- 地震発生から到達時間が短い。
 - 大きな津波は第1波が中心です(第2波以降は大きく減衰します)。
 - 5mを超える浸水は、海岸からおおむね10m以内です。

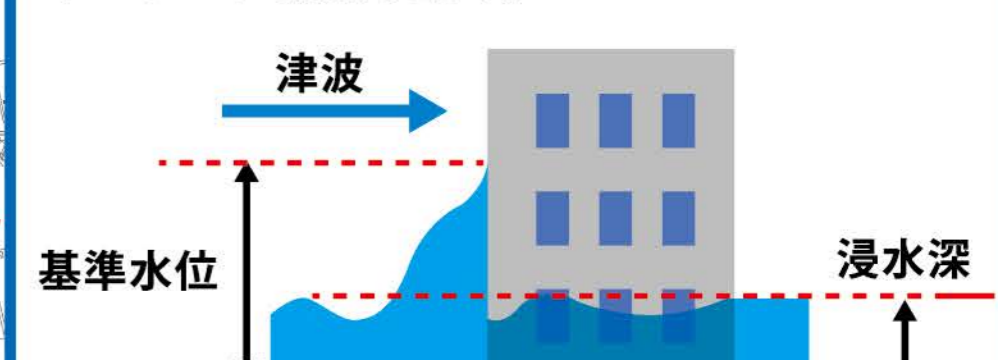
太平洋側の海溝型地震との違い

富山県で想定される津波は断層型地震によるものです。これは太平洋側で発生する海溝型地震の津波と比べて規模が小さいため、発生範囲は狭く、高さは低く、継続時間も短くなるといわれています。津波の特徴を正しく理解し、適切に備えましょう。



基準水位とせき上げ

津波が建物などに衝突すると波がせき上げられ、水位が上昇します。これを「基準水位」といい、富山県(河川課)のホームページで確認できます。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用し、(承認番号 平29情使、第1241号)